



舟渡小☆コミュニティスクールだより

令和8年度 第1号
板橋区立舟渡小学校
校長 相澤 紀夫
舟渡小学校あいキッズ責任者
記録 太田 幸一
令和8年 5月15日

第1回 板橋区コミュニティスクール (i CS)

委員会報告 第1回コミュニティスクール委員会を以下の通り開催いたしました。

開催日時：令和8年 4月20日(月)
14：30～15：30

場 所：舟渡小学校 図書室

司 会：山崎 洋子

次第

1. 校長挨拶
2. 委員長選出、新メンバー及びオブザーバー紹介
3. iCS委員長挨拶
4. iCS委員、オブザーバー、教職員自己紹介
5. 熟議 グループミーティング
テーマ
「教職員の働き方改革の更なる推進に向けて」
・授業支援のお願い
・保護や対応の現状
6. 事務連絡

熟議（グループミーティング）

テーマ設定：教員の働き方改革の推進

今回の熟議の目当ては事業支援のお願い、保護者対応の現状共有、地域側に見えにくい学校内実態の可視化でした。教員から率直な課題を出してもらい、iCS委員会や地域ができる支援を具体化する意図があります。

グループ分けを実施し、各学年に地域側参加者を配置し、意見交換を行いました。

地域資源活用と防災・キャリア教育の拡充（高学年中心）

地域の防災資機材配置や避難所運営の実情をヒアリングし、体験を通じた学びを検討しました。放課後図書館活動への地域ボランティア参加・人員確保を相談しました。出前授業（釣り等）、避難所づくり体験の支援を地域と連携していくことを検討しています。

6年生キャリア教育で多様な地域人材の招致を検討。語学補助は必要性が高いが責任・体制上の課題から現時点では難しい点も挙げられました。学校長依頼の田んぼづくり計画（約10畳規模）が進行中で舟渡米づくり構想も示唆されました。



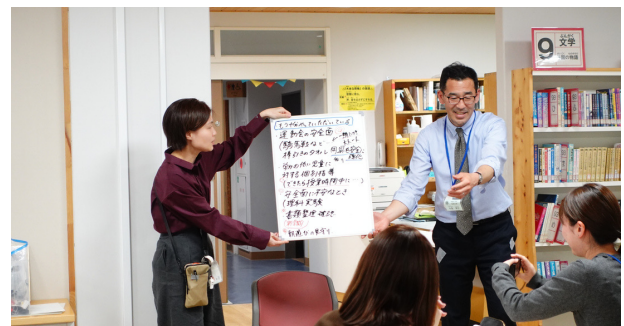
安全確保と学習・事務支援の具体要望

5月に行われる運動会の安全確保（騎馬戦の大人配置、用具安全加工）への人手支援が必要です。地域協力を仰ぎ、安全に実施していきます。

学習に困り感のある児童への特別指導や実験・家庭科での安全補助の継続要望がありました。また、新学期大量書類の整理・確認、行事時の見守り補助が要望されていますが、個人情報の観点や、技術として適切であるかなど検討課題も残りました。

5年生の総合的な学習（防災）に関する協力依頼

5年生が5月13日に地域防災をテーマに授業予定しています。地域防災の課題ヒアリングを希望し、会長・委員長らと意見交換の場を設定しました。現状、地域の危険箇所の確認計画は未整理で地域からの情報提供も求めています。



次回日時

9月7日(月) 13：30～15：30

学校と学童・地域連携の現状と課題共有（1～4年生）

1年生は授業支援（作業系・展覧会作品・就学支援）の継続が必要との話がありました。その他、集団下校中の急な行先変更で所在不明リスクがあり、保護者・あいキッズ・学校の連携強化をの必要性を改めて確認しました。また、保健・個人情報等の書類チェック負担が大きく、区のアプリ等でのオンライン化を希望されていました。

2年生は、給食配膳・朝の準備など生活面支援の継続がまだまだ必要であることを確認しました。保護者が「学校/あいキッズ/地域」の出来事を混同されてしまうため、連絡先の切り分け認識を持っていただくための仕組みが必要と話し合いになりました。指導・聞き取り手法を学校とあいキッズで統一していくことが検討されました。

登校班がなく通学路誤認・危険行動が発生し、登下校ルート再確認の場が必要との意見もありました。日本語が難しい家庭の書類作成支援を地域と連携して1日設けたいとの意見がありました。

3年生は地域（リサイクルプラザ等）と連携し、総合学習の材料・活動を検討しています。太鼓は高価のため作り方支援・共同制作ができると良いと希望が上がりました。野菜づくりの協働にも意欲的です。企画は教員間で実現可能性確認の上、関係者と調整予定です。

4年生は、あいキッズでの支援範囲の再確認をしました（朝見守りボランティア、学習支援、放課後音楽支援の検討、中休み校庭見守りを検討する等）。Chromebook運用ルールについて、学校とあいキッズで情報共有していく事が大切だという意見が出ました。



学校の見守り体制と人手状況

朝の見守りは8時開始。休み時間の見守りは当番制で、授業終了直後のタイムラグが課題。中休み、昼休みも同様に職員が当番で見守りを行なっている。しかし、授業の準備や、簡単な打ち合わせの時間がなくなることも課題として残っています。あいキッズや地域で支援ができないか検討したいとの意見がでました。

楽器練習・音楽授業支援の連携

鍵盤ハーモニカ、リコーダー、合奏での支援が効果的にできるよいと話し合いがされました。楽器ごとの分散指導や楽器が苦手な児童への個別支援が大変有効です。あいキッズでの持ち帰り練習は、状況次第で室内での演奏練習を許可しています。学校ではとても感謝しているということです。

